キリシタンが聖地を拝んだ岩屋山からの景色（長崎港方面）

長崎と天草地方の「世界遺産巡礼の道」

エリアⅢ 希望を与えた予言の道（長崎市）
（巡礼路13〜16）

1571年の長崎開港とともに日本カトリックの総本山「岬の教会」（県庁舎跡地）を中心にキリシタンが長崎の町を形成しました。その後、禁教の時代が訪れると、長崎のキリシタンは「やがて自由に信仰できるようになる」という殉教者の予言を信じ、ローマに通じる聖地とされた山（樫山の赤岳）を拝み、希望をつなぎました。

本エリアには4つの巡礼路があり、このうち「巡礼路13」は、岬の教会跡から二十六聖人が通った時津街道（浦上街道）をたどり、平和公園をゴールとするコースです。

長崎と天草地方の「世界遺産巡礼の道」とは

世界文化遺産をはじめとするキリスト教関連遺産をたどる道として、35の巡礼路をテーマごとに5つのエリアに分けています（総延長約465km）。各エリアの代表的な巡礼路をシリーズ（5回）で紹介します。

バチカンの公式巡礼地である日本二十六聖人殉教地

当時の岬の突端に設けられた「岬の教会（サン・パウロ教会／被昇天の聖母の教会）」跡地

問合せ　県の世界遺産課　☎095-894-3171　潜伏　世界遺産巡礼の道　検索

つたえる県ながさき
vol.65　2021年9月号
〈発行〉長崎県広報課 〒850-8570（住所不要）
☎095-824-1111
〈デザイン〉デザインスタジオ ヨンエフ

長崎の魅力に、新たな変化を！「長崎の変」プロジェクト
長崎の変　検索
UD FONT
VEGETABLE OIL INK
FSC www.fsc.org ミックス 責任ある木質資源を使用した紙 FSC® C014687